

OyaConvM5 かんたん取扱説明

接続方法



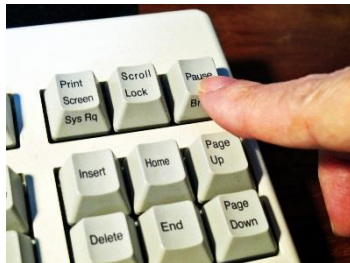
1. USB 端子とキーボードとを接続します。
2. 本体左側側面にある赤い色の電源スイッチを一度押します。
3. OyaConvM5 が BLE(Bluetooth 互換)接続されていることを確認します。
(正常に接続されれば、無線接続状態が CONNECT になります。)

Type-C 充電端子から充電しながら使用することも可能です。充電中は電源を切ることは出来ません。

- ※ BLE (Bluetooth4.0 以上互換) 接続は OyaConvM5 の電源が入っていることを確認してから、接続する機器の Bluetooth 接続方法に従ってペアリングして下さい。一度ペアリングされると次回からはその機器に自動的に無線接続されます。
- ※ Type-C 充電端子は充電のみの機能です。デバイスへ信号を送ることは出来ません。
- ※ メモリカード (microSD 互換) の images フォルダ (ディレクトリ) は変更したり削除をしないで下さい。表示に必要な情報が入っております。



1. 電源を入れます。(接続方法の通りです)
2. ご使用になりたいチャンネルを液晶の表示で確認します。
3. ファンクションキー「親指/英数」で親指シフト配列としてキーボード入力が出れます。英数に戻す時には同じファンクションキー「英数/親指」を押します。
※キーボード Pause ボタンでも 親指/英数の切り替えは可能です。



- ※「半角/全角」など日本語切り替えキーと連動して切り替えすることも可能です。
4. ご使用が終わりましたら本体左側側面にある赤い色の電源スイッチを押して電源を OFF します。(充電中は電源を OFF することは出来ません)

ご予約時は、次ページ「ご注意・制限事項」を必ずお読み下さい。

ご注意・制限事項

- ※ 充電状態が 100%にならない場合は、バッテリーの寿命です。早めに交換下さい。
- ※ FMV-KB232 は特殊なキーボードのため現時点では使用することが出来ません。
- ※ 2021.05.05 時点では、キーレイアウト チャネル1 は、FKB7628-801(Thumb Touch)、チャネル2 は標準的な JIS キーボードとした配列で出荷しております。JIS キーボードは左親指シフトをスペース、右親指シフトを変換キーとしております。(キーレイアウトはユーザー様にて変更可能です。)
- ※ ご希望のキーレイアウト設定は別途有料サービス (¥5,000) でもお受けいたします。
- ※ PC 等のデバイス側に BLE, Bluetooth4.0 以上の互換があることをご確認ください。本体に互換が無い場合 Bluetooth4.0 以上の新しい外付 Dongle を装着してもペアリングは出来ません。
- ※ Mac では ANSI (US) キーボードとしてご使用下さい。Mac 側の設定を JIS キーボードにすると一部キー (アンダーバー、¥キー) がご使用になれません。現在原因を調査中です。